

先週の水曜日に開かれた地域学校保健委員会では、小児科医の田澤雄作先生から、テレビやゲーム、スマートフォンなどのメディア機器を長時間使用した際の弊害について、医師としての豊富な診察経験に基づいて、写真や患者さんのエピソードを交えながら、分かりやすく教えていただきました。

また、先日、神奈川県座間市で発生した事件の被害者の中に、本県の高校に在籍する女子生徒が含まれていることが確認されました。先週の金曜日、各学年で、スマートフォンなどの使い方について、担任の先生と確認したことと思います。

都路中生のスマートホンの所持率は、1学年47%、2学年64%、3学年69%となっており、スマホを持っている生徒全員が毎日利用しています。SNSを介した様々なトラブルや事件が、座間市での例に限らず全国各地で起きており、社会的な問題となっています。スマホの所持率が高い都路中生にとっても、電子メディア依存、ネット依存、SNSを介したトラブルや事件は他人事ではありません。

スマートフォンなどのインターネット接続機器は、生活をする上でとても便利なツールとなっており、未来を担う皆さんには、スマホなどのメディア機器を賢く活用できるモラルと知恵、能力が求められています。そこで、全校生でもう一度、5つのルールを確認します。

- 1 マナーを守ろう。特に、勝手に人物を撮影すると人権侵害に当たります。
- 2 人を傷つけないか、SNSの送信前に見直そう。特に、友達の悪口や人を傷つける書き込みをしていないか見直しましょう。
- 3 個人情報を書き込まない、送らない。特に、よく知らない人に自分や友達の連絡先を教えると悪用されたり、露出しすぎた写真は悪用されたり、法律に触れたりする場合があります。
- 4 ネットで知り合った人と直接会わない。「自分だけは大丈夫」、「信用できそうな人だから」との思いが大変なことにつながります。
- 5 使いすぎないようにけじめをつけて。睡眠時間が減ると、集中力もなくなり、心身の不調の原因になります。また、スマホに費やした時間にできる大切なことは、他にもたくさんあります。

これからも、都路中学校では、この5つのルールをスマホのルールとして活用していきます。皆さん一人一人が5つのルールを自覚して、スマホと賢く付き合ってください。

さて、来週20日には、全学年で定期テストが実施されます。特に3年生は、高校入試を目前に控え、1点でも多く点数を取るためにはどうしたらよい

か、努力しているところです。学校のテストや高校入試は、問題が明確に与えられている中で、「どう解くか」ということに主体を置いた学習です。例えるならば、「ジグソーパズル」型の学びです。ジグソーパズルは、予め設定された正解があって、その正解に向けていかに早く正しく組み合わせるかということを考えます。勿論これは重要なことです。

ただし、地球環境の悪化、エネルギー問題、宗教や民族間の対立、我が国の人口減少と少子高齢化など、複雑な課題に直面している現代社会においては、「決まった正解を早く出すことの訓練をした人材」では対応することが難しく、「課題を自ら発見し解決することのできる人材」が強く求められています。これはジグソーパズル型に対して、「レゴブロック」型と言えます。レゴブロックには、予め設定された正解はありません。正解どころか問題すら明示されていない、その時々状況の中で、何を創るか、どのように創るかといった根源的なところから思考を重ねていきます。

都路中では、皆さんがジグソーパズル型の学びとレゴブロック型の学びをバランスよく経験できるように努めていきます。周りの雰囲気にならなせず、しがらみに縛られずに、自分の殻を破って、チャレンジと背伸びをどしどししてください。